



生命誌の広場

テーマ別に投稿を読む

- 中村桂子の「ちょっと一言」▶
- 研究について▶
- 季刊「生命誌」▶
- 展示・映像▶
- その他▶

あなたの考えをお聞かせください

ご意見はこちらから

最新のお返事

- 2019年10月02日 [RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日 [アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日 [原爆について](#)
- 2019年09月05日 [BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日 [この夏一番元気だったものは？](#)

最新のご意見

- 2019年09月27日 [RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日 [アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日 [原爆について](#)
- 2019年09月05日 [BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日 [この夏一番元気だったものは？](#)

過去の書き込み

2019年 10月
GO

みなさんからのご意見

その他

Merry Christmas to you !

投稿日：2017.12.22 ニックネーム：相模のラクダ

「中村館長様、スタッフ御一同様、及び、会員の皆様方」
 メリークリスマス！ きっと、これが、HPに、載せてもらえるか、微妙な日程だと思えますが、今年も、あと、10日を切りましたね。各、個人の方々には、今年、色々なことがあったでしょう。しかし、来年は、【ワ】ダフルな、年になります様に祈っています。サツさんと、トカイさんは、プレゼントを積み込み、今から、大忙しで、全国へ行脚にまいます。御館には、回れるかどうか？・・・。今年も、大変、お世話になりました。合わせて、来年も「良いお年を！」皆様方、及び、研究館の、一層の、ご発展を願います・・・。

お返事

投稿日：2017.12.22 名前：中村桂子館長

今年も積極的に投稿していただき心からのお礼を申し上げます。サンタさん是非お出で下さい。そして、BRHからのプレゼントを世界中の子どもに届けて下さい。生きてるって素晴らしいね！というメッセージです。

中村桂子の「ちょっと一言」

「中村桂子館長のちょっと一言」に寄せての感想

投稿日：2017.12.17 ニックネーム：アップルパイ

水俣に行かれたとのこと、下記に「感想」を述べたいと思います。
 日本の「高度経済成長期」の反動?? 新潟 イタイタイ病、と同じ「有機水銀公害」=日本の「公害」の発祥の地? (足尾銅山もありますが) みたいな場所ですね。もう少し早く、公的に因果関係が立証され、良い判断(判決)が出れば、その被害を受けられた方々の「人生」も、少しは良くなっていたかもしれません。痛ましいことです。両地域は、現在の「日本を代表する化学メーカーが起こした公害の地」です。日本は、これから、新たな「天皇」になり、「東京オリンピック」と続き、経済的にも活気が出てくるでしょう。(御社も、新たな社長様になるとお聞きしております)しかし、もう、皆さん、お忘れかもしれませんが、少なくとも、東日本・関東地方の方々には、関係が大きい、東京電力：福島第一原子力発電所の「事故」の処理が続いており、その費用も、予算の数倍に膨らんでいます(この費用は、結局 国民が支払う分が多くなります) 大げさかもしれませんが、個人的には「日本最大の事故」だと思っています。いまだに、福島から「避難」されている皆様のご苦勞は、館長が行かれた、水俣病の様に、忘れられていく様な気がします。本当に、このままの「科学立国：日本」のベクトルで良いのか?と、考えさせられました。もっと、生物や、人間性を重んじる方向へ「転換」出来ないのでしょうか? 人間は、考えられる「動物」です。歴史から、学び、政治家さんや、行政官庁の方々で、全ての「生き物」が乗船しているこの「宇宙船地球号」を、もっと環境を大切に守り、各国の国益だけの行動でなく、平和な世界で「地球号」を 末永く使えるようにしていただきたいと思いました。

お返事

投稿日：2017.12.21 名前：中村桂子館長

新着情報



10月19日生命誌オープンラボ (19.10.01)

10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会(19.10.01)

昆虫脳の標本展示が登場!(19.10.01)

パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始(19.10.01)

あくあびあ芥川とスタンプラリー開催(19.10.01)

感想ありがとうございました。おっしゃる通りで、このような社会にしまった世代の一人として責任を感じると同時に歯痒い思いをしています。どうしてよいかわからないというのが実感ですが、まさに緒方正人さんがおっしゃったように一人一人が一人一人として考え、行動することが基本と思って日々を送っています。私としては生命誌が生きものとして生きる社会づくりに向けて何かができることを求めています。
またお考えお聞かせ下さい。



中村桂子の「ちょっと一言」

今年もありがとうございました

投稿日：2017.12.15 ニックネーム：teru

中村先生、今年もありがとうございました。
いろいろな問題を抱え込んで年をこそうとしておりますね・・・

私は、今年もいろいろな本を読ませていただきました。
最近の書では
「パンと牛乳はいますぐやめなさい」

「パン・豆類・ヨーグルト・りんごを食べて はいけません」

戦時中はコメ・砂糖・塩は配給・・・豆は皮だけがある・・・白パンは憧れて・・・
ミルクも・・・それでも健康で喜寿を迎えています・・・

低FODMAP食を食べるだけで・・・むつかしいことはわかりませんが・・・感謝だけはいつもこころえております。

良い年をお迎えくださいませ。

お返事

投稿日：2017.12.21 名前：中村桂子館長

こちらこそいつも投稿下さってありがとうございます。研究館からの発信は心をこめていたしておりますが、感想をいただくのが一番嬉しいことですので、これからもよろしく願いいたします。

私は食べものも日常生活も特別のことは考えずにおいしいと思うものをいただき、自分が大事と思うことをやって過してきました。このスタイルが一番楽なのでこれからもと思っています。



季刊「生命誌」

「和」をめぐる

投稿日：2017.12.14 名前：岡野桂子

季刊生命誌95号ありがとうございました。普段接することのできない研究やお話に出会え感謝しています。

今年のテーマ「和」。考えさせられること多く思いがあちこち行き来します。そんな中、隠れて見えないもの、陰に隠れているものに目が向かいます。今回、土井さんの清らかな世界を中心に素材との対話を通して繰り広げられる世界、おかげんいかがですか、お陰様で、こちらこそ、お互い様で、そんな会話が聞こえてきます。間合いが整えられ生まれてくるお料理の世界。のどまるを思います。そして、盛りつけた瞬間料理から人間の気配は一切消えなくてはなりません、と。期を同じくして新聞で指揮者秋山和慶さんの、「いい音楽を聴いたね、そういえば誰が振ったの」と、言いながら帰っていただくのが理想だという記事にであいました。向き合うものは違っても仕事のなさりように共通するものを感じ心打たれました。

さらに、けじめ。とても気になりました。自然から距離を置いて暮らし始めたヒト。自然の中で自然に解消されてきた「ケ」を自らで解消するしかなくなった。そもそも自然には「ケ」などなかった・・・。

取り留めなくいろいろ思いながら暮もせまりました。今年は身の回りの物や居場所を守ってくれた家に、いつもほったらかしでごめんなさい。お陰様で今年も無事過ごせましたと報告しながらお掃除しましょう。掃除機君他お掃除道具のみんなよろしく。少しはすがすがしい気分でお正月を迎えられたらと思っています。

1年、ありがとうございました。みなさまよいお年お迎えくださいますよう、来年もよろしく願います。

お返事

投稿日：2017.12.15 名前：中村桂子館長

これまで一つの動詞で続けてきましたのに、今年は私の頭から「和」という文字が離れず、「和」一なごむ、やわらぐ、のどまる、あえるとしました。「和」が離れなかったのはまず「平和」であり、そして「日本」です。今年はこのをとことん考えさせられた年でした。両方共なんだか危ない方へ、危ない方へと動いているようで「和」は来年も考え続けなければならないと思います。土井さんとは波長が合いましたね。生命誌を日常とつなげて考えることはとても大切で今回はそれが思いきりできて楽しい話し合いでした。投稿ありがとうございます。来年もよろしくお願ひいたします。



季刊「生命誌」

BRH cards 9 5 (冬)号

投稿日：2017.12.10 ニックネーム：湯どうふ

中村館長、スタッフ一同様

本当に寒くなってきて、BRH cards 9 5 (冬)号が届きました。「和」で過ごした今年も、あとわずかになりましたね。この1年、色々な事件等がありましたが、悪いことは、忘れましょう！BRH cardsは、まず一通り、読んだ後、4作目の「紙工作」を作り上げました。4つの作品を並べると「壮観」です！cards企画の皆様に感謝します。冬号の、土井善晴氏：「おいしいもの研究所代表」との、TALKは、世界遺産「和食」の美味しさと、対談の雰囲気も伝わってきました。館長は、ア-カイブ「動詞で考える生命誌」でも、多数の異分野の方々と、対談されておられ、羨ましい思いです。リ-子の内容も、興味深くて良かったです。では、来年が、良い年でありますように！

お返事

投稿日：2017.12.22 名前：中村桂子館長

ありがとうございます。土井さんの研究所では本当に美味しいお食事（カードにも書きましたが、奥様の手づくりです）をしながらのお話で、味はカードでは届けられないと残念に思いました。羨ましいとおっしゃられると申し訳ない・・・すてきな方とお会いできるのは幸せです。この幸せをカードで少しでも共有していただきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。今年の「生命の樹」はスタッフの努力でBRHならではのものになったと自負しています。ちょっと自慢するのをお許し下さい。

▲ ページの先頭へ